

「観る、触れる、体感する」をテーマに鞍手の歴史を紹介しています



鞍手町の歴史は約6000年前の縄文時代から始まります。発掘現場より搬入した巨大貝塚などの埋蔵文化財資料や、民俗資料、江戸時代の国学者伊藤常足の資料などを展示しています。

所在地	鞍手郡鞍手町大字小牧 2097
開館年月日	昭和60年11月3日開館
開館時間	9:00~17:00 (入館は16:30まで)
休館日	月曜日・第三日曜日・国民の祝日
主な展示資料	新延貝塚から搬入した貝塚は貝層が1.6mにも及び、シジミ、カキなどの貝が観察できます。
観覧料	無料
駐車場	無料、約50台収容
設備等	多目的トイレあり。車椅子・ベビーカーの無料貸出あり。ペット入場不可(補助犬に限り可)。
イベント	年間1~2回企画展を開催、関連講座も開催 展示室のいろりの間で開催される昔ばなしの会(ストーリーテリング)やコケ玉作りなど
P R	小学校の授業に合わせた展示解説や資料の貸出等、ご相談に応じてご協力させていただきます。

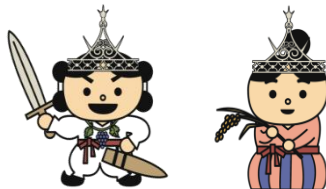
これが自慢!



新延貝塚の巨大貝層



いろりばたのお話会



アクセス

JR 福北ゆたか線「鞍手駅」下車、徒歩約20分
九州自動車道「鞍手I.C.」から車で約5分



企画展の様子